

## 再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課

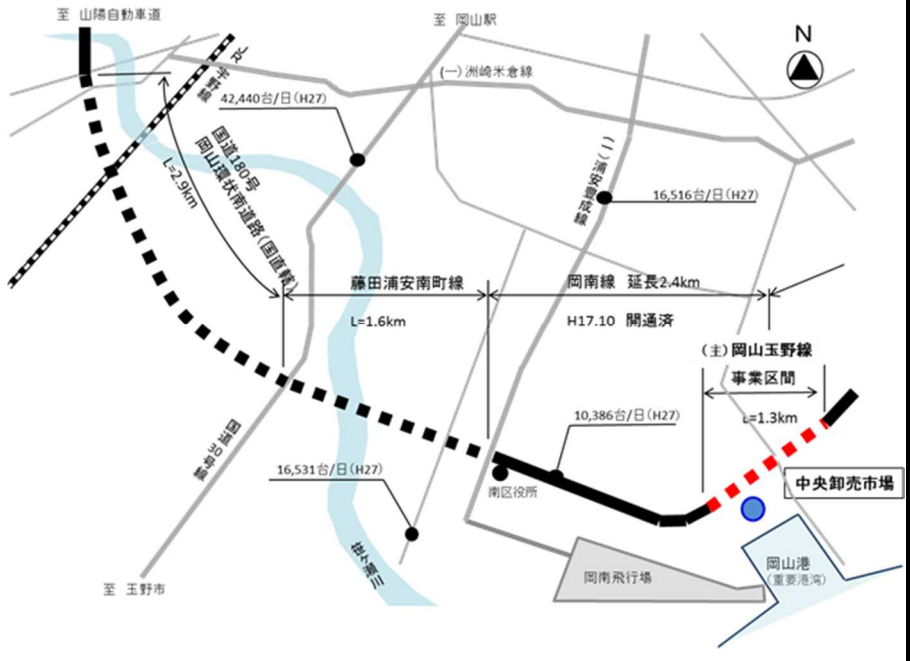
担当課長名：野田 勝

事業名	重要物流道路 主要地方道 <small>おかもやまの</small> 岡山玉野線	事業区分	地方道	事業主体	岡山市						
起終点	自：岡山県岡山市南区海岸通二丁目 <small>おかもやまのみなみかいはんとおり</small>		至：岡山県岡山市南区築港栄町 <small>おかもやまのみなみちっこうさかえまち</small>		延長	1.3km					
事業概要	主要地方道 岡山玉野線は、山陽自動車道と重要港湾である岡山港を連結する重要物流道路であり、平時、非常時を問わない安定的な輸送確保を目的とし、岡山市南区海岸通二丁目～築港栄町までの延長約1.3kmを整備するものである。										
H30年度事業化	H26年度都市計画決定	用地取得済	工事未着手								
全体事業費	約4.4億円	事業進捗率	約3.4%	供用済延長	— km						
計画交通量	15,400台/日										
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.2  (残事業) 2.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 4.6/4.6億円 (事業費：4.0/4.0億円 維持管理費：0.6/0.6億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 10/10億円 (走行時間短縮便益：8/8億円 走行経費減少便益：1.3/1.3億円 交通事故減少便益：0.7/0.7億円)	基準年	平成30年						
感度分析の結果	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">(事業全体) 交通量 : B/C= — (交通量 ±10%)</td> <td style="width: 50%; border: none;">(残事業) 交通量 : B/C= — (交通量 ±10%)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">事業費 : B/C= — (事業費 ±10%)</td> <td style="border: none;">事業費 : B/C= — (事業費 ±10%)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">事業期間 : B/C= — (事業期間±20%)</td> <td style="border: none;">事業期間 : B/C= — (事業期間±20%)</td> </tr> </table>					(事業全体) 交通量 : B/C= — (交通量 ±10%)	(残事業) 交通量 : B/C= — (交通量 ±10%)	事業費 : B/C= — (事業費 ±10%)	事業費 : B/C= — (事業費 ±10%)	事業期間 : B/C= — (事業期間±20%)	事業期間 : B/C= — (事業期間±20%)
(事業全体) 交通量 : B/C= — (交通量 ±10%)	(残事業) 交通量 : B/C= — (交通量 ±10%)										
事業費 : B/C= — (事業費 ±10%)	事業費 : B/C= — (事業費 ±10%)										
事業期間 : B/C= — (事業期間±20%)	事業期間 : B/C= — (事業期間±20%)										
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 暫定2車線区間の4車線化による重要物流道路のネットワーク強化。</li> <li>・ 車線数の増加により直進車と右左折車が分けられ、渋滞発生の低減が期待される。</li> <li>・ 沿線の物流拠点である岡山市中央卸売市場、岡山港周辺の臨海工場へのアクセス機能向上により、広域的な地域全体の活性化を図る。</li> </ul>										
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元町内会、工業地区整備促進協議会ともに道路拡幅の早期完成について強い要望がある。</li> </ul>										
事業評価監視委員会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業継続を妥当と認める</li> </ul>										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周辺住民との合意により順調に事業推進が図られている。</li> </ul>										
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用地取得率 100%、事業進捗率約3.4%</li> </ul>										
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用地取得は完了しており、今後は早期完了を目指し、道路改良工事を推進していく。</li> </ul>										
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再生資材や建設発生土の有効活用を進め、コストの縮減に努めていく。</li> </ul>										
対応方針	事業継続										
対応方針決定の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。</li> </ul>										

事業概要図



凡例	
開通済	
事業中(他事業)	
事業中(本事業)	



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。